



旬な協力隊

Since Oct.2016

About project

福島県内の地域おこし協力隊の有志がカフェと協力して、月替わりで地域の魅力を発信。互いの地域の魅力を知って、福島県での暮らしをもっと楽しく、もっと豊かにすることを目指します。玉川村、塙町、二本松市、天栄村、矢祭町、棚倉町、小野町、鮫川村、会津若松市、国見町、会津坂下町、いわき市…これまで、12の自治体の協力隊とのべ14回のコラボレーションメニュー、あるいはディスプレイを実施してきました。

Contact us

プロジェクトについては、移住コーディネーターでもある「たなぐら大家族」・増成貴弘まで。
(棚倉町棚倉字新町 32-2 | <https://goo.gl/rjuD2H>)
レシピの開発・販売については、コミュニティ・カフェ EMANON のシェフ・青砥侑紀まで。情報発信・取材については同じくカフェ EMANON の代表・青砥和希まで、それぞれお問い合わせくださいませ。
(白河市本町9 | 0248-57-4067 | <http://emanon.fukushima.jp>)

Story of January

今回の素材は、いわき市地域おこし協力隊、館野さんが紹介する自然薯（じねんじょ）。山の薬とも言われる自然薯。山に囲まれた…むしろ山であるいわき市田人は、栽培に適した水はけのよい緩やかな傾斜地がたくさんあります。

もともとはこんにやく栽培が盛んだった田人地区ですが、市場価格の下落などから栽培が衰退。耕作放棄地が増えるなどの課題を抱えていました。「もう一度地域を盛り上げよう。」そんな田人に住む人たちの期待を背負ったのが自然薯でした。栽培がはじまって約15年が経ち、すっかり田人を代表する特産品となった自然薯。

毎年11月に開催される『田人ほっこり祭』

では、自然薯そばや自然薯お好み焼きなどのメニューを楽しめます。農家さん対抗、自然薯コンテストでは、[美しさ][甘さ][粘り気]の3部門の総合評価で、ベスト自然薯が選ばれます。

弾力のある粘り気と、甘みと風味を持つ田人の自然薯。一説によると美肌にも効果的、若い人の身体にも嬉しい栄養を、ティラミスからたくさんとってみてくださいね。

そんな田人と自然薯と農家さんたちのお話は、館野さんのブログ『田人町地域おこし協力隊ブログ ーまいにち、たびとー』を読むときっと知ることができるはず。毎日かかさず、チェックです！ <https://ameblo.jp/tabitonohibi/>



△田人自然薯のティラミス！あたたかいミルクティーと一緒にどうぞ。



△冬の田人は雪もたくさん降ります。お越しの際はお気をつけて。